

解答例

二〇二五年度 東北公益文科大学一般選抜（A日程） 国語

第一問

問一	問二	問三	問四	問五	問六
(1)	(イ)	a	あ	I	へ解答例～ 私たちの住んでいるまちでは、若者が自分たちのまちについて話し合う機会がなく、同世代の仲間がまちの魅力を発信できない点、未来像をどのよう に考えているのかを語り合う場を設けてほしい。また、まちが今後どのよう な内容の企画や、統計的な予測データや、自治体や自治会で議論、計画され ている内容を知ることができる、語り合う場を創っていきたいことを話したい。 （200字）
つかん	根幹	目的	二	二	
(2)	(ロ)	b	い	II	
かんよう	冒頭	手段	ハ	ホ	
(3)	(ハ)		う	III	
しょくさい	把握		ホ	ロ	
(4)	(二)		え	IV	
あいさつ	雰囲気		へ	イ	
(5)	(ホ)		お		
りんかく	純粹		口		

第二問

問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九
(1)	(イ)	I	二	②	潜在的	対照	へ解答例～ 金銭的な報酬は歩合制、利益配分、あるいは市場価値を反映させた年俸制に 代表されるような客観的基準に基づく成果主義によって実現できるが、個人 の満足や動機づけの面からは限界もあるから。 へ解答例～ 企業の側も、IT化をはじめとする情報化・ソフト化や技術革新と、それに 伴う仕事の变化、顧客ニーズの多様化などによって、個人による環境適応を 重視するようになったから。	へ解答例～ 組織の不祥事の中には、個人の責任があいまいなために生じたと思われる ケースも多く、危機管理の面からも責任の明確化が求められているから。
えじき	抵抗	ホ	二	①				ハ
(2)	(ロ)	II		「プロのスポーツ選手や芸能タレントの世界」の組織 志向に焦点を合わせながら組織を設計していかねばならない。 「ボランティアの世界」の組織 選別や強制という手段が基本的には通用せず、個人の自発的な意思を尊 重せざるをえないという組織				
によじつ	控	イ						
(3)	(ハ)	III						
ぶあい	辞	ハ						
(4)	(二)							
かいむ	偉							
(5)	(ホ)							
とな	核							